

**2008年度図書館サービス・システム委員会実務担当者研修会アンケート結果
ワーキング別集計(項目抜粋)【ワーキングD】**

日時:2008年9月4日～9月5日/場所:レイクサイド入鹿
回答数:9(両日参加者数:10 回答率:90.0% [参加者数に講師含まず])

1. 身分等

A:大学所属(専任・嘱託・契約職員など)	9	100.0%
B:そのほか(派遣・委託職員など)	0	0.0%
回答無し	0	0.0%

2. 図書館業務の経験年数

A:5年未満	4	44.4%
B:10年未満	1	11.1%
C:15年未満	2	22.2%
D:20年未満	1	11.1%
E:20年以上	1	11.1%
回答無し	0	0.0%

8. ワーキングの内容について

A:とても参考になった	8	88.9%
B:参考になった	1	11.1%
C:あまり参考にならなかった	0	0.0%
D:参考にならなかった	0	0.0%
回答なし	0	0.0%

<自由記入>

【A:とても参考になった】

今日は本当に参加して良かったと思える内容でした。

ロールプレイングを中心に、これまでになかった切り口から図書館業務を見直すことができ、大変新鮮だった。

講習は勿論、参加者の方の何気ない素振りや言動が、早速自分の業務に活かせると感じました。「利用者主義」と「教育」両方をバランスよく実現するコミュニケーションの在り方を考えさせられました。接客マニュアルを自館にあてはめて作成していきたい。

クレーム対応など具体例を通じてロールプレイング方式でのディスカッションが非常にわかりやすく、ためになりました。コミュニケーションの大切さが痛感できました。クレームの対処法は現場に戻って参考にしていきたい。

9: 事前課題について

A:あっても良い	7	77.8%
B:無いほうがよい	2	22.2%
回答無し	0	0.0%

<自由記入>

【A:あっても良い】

成果物を用意することで、研修当日に本題から入ることができる。

あまり業務の支障にならないようにしてください。

事前に自分なりにテーマについて考えておいたほうが当日研修に深みができるため。

あってもよいが通常業務内でできる範囲内の分量が望ましいと思います。

職務に影響されない程度であれば。(量的には少ないほうがよい)

【B:無いほうがよい】

ワーキングDは特に事前課題で大変なものはなかったが、他の人の話を聞くと通常業務と平行しては大変なように思

10. 今後希望する研修会のスタイルについて(複数回答あり)

A:今回のようなワーキング主体の研修会	8	61.5%
B:グループ討議主体の研修会	3	23.1%
C:講演主体の研修会	1	7.7%
D:その他	1	7.7%

<自由記入>

【D:その他】

テーマをいくつも分けると、2つ以上参加したい人がどれか1つだけを選択しなければならないため、他の希望分野を諦めなければならない。1つ1つのテーマを別日程で行ってほしい。

11. 今後研修会で扱ってほしいテーマについて(複数回答あり)

A:発注・受入	1	3.4%
B:整理	2	6.9%
C:蔵書検索	3	10.3%
D:危機管理	0	0.0%
E:利用者支援・利用者教育	6	20.7%
F:ILL	2	6.9%
G:Webサービス(データベース・電子ジャーナルなど)	5	17.2%
H:ポータルサービス	3	10.3%
I:e-ラーニング	1	3.4%
J:広報(ポスター・チラシなど)	3	10.3%
K:人員管理	2	6.9%
L:その他	1	3.4%

<その他記入内容>

レファレンスサービスの充実(分野別のレファレンスデータベース)について。

一日目の紅露先生の「ラーニング・コモンズ」のお話が興味深かったです。いろいろな図書館(公共・海外も含め)の実例も含めて研修できればと思います。